

## R7年11月 ばら組ドキュメンテーション 「ぬいぐるみのお世話」

ある日、お気に入りのぬいぐるみを持って遊んでいたA君。しばらくしてそのぬいぐるみを寝かせていた。



その後、今度は「ねんね」と言いながら布団を掛けていた。



### ☆考察☆

- ・1歳児クラスのこの時期は、身近な大人のしていることを真似しながら遊びに取り入れる「模倣遊び・簡単なごっこ遊び」ができるようになってくる。A君のこの姿から、普段経験している“寝る前の流れ”をよく覚えていて、それを遊びの中で再現していることが分かる。
- ・今後も身近な玩具等を使いながら、「自分で見立てて再現できる遊び」が広がるような環境を整えていく。また子どもの気持ちに寄り添いながら、子どもが描くイメージが広がるような言葉かけを大切にしていきたい。